

日本共産党を代表しまして、全ての子供たちに行き届いた教育を求める請願について賛成する立場で討論します。

請願の趣旨は、学校が一人一人の子供たちに行き届いた教育を保障する場であることを願い、全ての子供たちにとって笑顔で生き生きと生活できる場であってほしいとの思いから、教育条件の整備を要望しておられます。その上で請願項目として、子供たちの命と健康を守るため、また災害時における安全な避難場所となるよう、全ての小中学校体育館へのエアコン設置を求めておられます。

世界的な産業構造の変化によって地球大気へ二酸化炭素が排出され、その濃度が上昇し、地球温暖化が進行しています。このことは、日本を含む全世界でも重要な環境問題として認識され、排出ゼロを目指す国際的な取組となっていることは周知のことです。

昨今の異常気象による影響は、特に夏場の気温上昇に表れています。家庭内でも夏場の熱中症予防のために、エアコンの適切な使用が推奨されるようになり、学校におきましては教室への設置が行われました。しかし、エアコン設備のない、夏場の体育館は50度を超えることもあったと言います。

請願項目である、体育館へのエアコンの設置は教育環境の条件整備として必須事項と考えます。また、学校体育館は災害時の避難場所とされており、多数の避難される市民を受け入れ、安全・安心な避難場所として過ごすことのできる環境整備としての側面も重要なことと考えます。

この請願の内容は、子供たちと市民の命と健康を守りたいという、1,300名を超える請願者の切実な願いであります。よってこの請願に賛成いたします。